



発行元：

金屋町まちづくり協議会

発行責任者：般若陽子

編集責任者：般若慎一郎

昨年9月11日の開町400年記念フォーラムにおける、金属工芸工房かんかの槻間代表の発言をふり返ってみました。鑄物の聖地の金屋町に、空家を利用して金属工芸研修施設を作り、全国から工芸作家が集う町にしたいという、活力ある町づくりへの夢に満ちた提言であると感じます。

## 金屋町は鑄物の聖地

### かんか立ち上げの経緯

金属工芸工房かんか 槻間代表

かんか立ち上げの経緯を話します。2年前に、伝統工芸後継者養成スクールの修了者達と忘年会をしたときに、高岡には金属工芸をする工房が無い、皆で使える仕事場が欲しいという話が出た。

### ヨーロッパの工芸家スタイルを 鑄物の聖地に導入した

10年ほど前にベルギーやデンマークを旅行した時、現地作家の工房を何軒か訪ねたが、とても狭い家でも1階が展示場で2階や奥が工房になっていた。そこでは、作り手が自分の作品も仕事も見せてアピールしている。それが作家としてとても自然なあり方でないかと思った。

日本で作家活動というと、公募展とか個展とか外へ持って行って発表するのが常です。自分の作品展示・販売と工房を同じ空間の中でやるという形が日本では無い。それを小さな場所でも出来るといいなと思った。

後継者養成スクールや金沢美大の教え子が、何人か高岡へ移り住んで来た。彼等はどこかで工房を持ちたいという希望を持っていたが、鑄物の聖地である金屋町で持てたら素敵だなと思った。そういうことを忘年会の席で話したら、何人かが同意してくれて、探してみようということになった。当時鑄物資料館館長だった般若邦太郎さんが相談に乗ってくれ、折りしも映画資料館が閉館するというのを聞き、家主の宗泉寺へ一緒に交渉に行ったら貸してもらえることになった。

## 若い作家が仕事をできる 場所と機会を作りたい



その後、町並み魅力アップ事業の支援を得て、トイレとか作業場を拡充し、2010

年9月13日にオープンした。以来、約15人のメンバーの作品展などを行っているが、先日も東北支援チャリティー展をしたら、結構買っていただいて20万円以上の義援金を送ることが出来た。高岡では金属工芸の売り上げが、平成12年に比べて3分の1ぐらいに落ちている。当然仕事が減っているが、工芸家は仕事をしないと進歩しない。若い人達には仕事をする場所もチャンスも無くなっていく。そこで、対面販売で顔を見ながら若い作家の作品を買っていただく、そしてそれが次の製作につながるという連鎖を少しずつ広げていき、物を作る機会とか技術を向上する機会につなげたいと考えた。

### 鑄物の聖地の空家を利用して もっと大きな研修施設を作りたい

金属工芸工房を個人で持つのは困難です。空き家がふえつつあるが、そういうところをアトリエとして貸していただけたらいいなと思っている。先の話ですが、かんかの何倍もある研修施設があると、一番いいなと思う。鑄物の聖地にそういう施

設は非常に似合うし、あれば全国から利用しに来ると思う。実際、卒業しても工房を持たず、製作出来ないという人を何人も知っている。そういう人達が、一定期間寝泊りしながら製作できるような場所が、出来るといいなと思っている。

## 優良公民館表彰を受けました

2月4～5日、第8回高岡市公民館フェスタがウイングウイング高岡において開催され、活動事例発表や作品展示など様々な行事が行われましたが、冒頭の式典において市内7ブロックから1公民館ずつ表彰を受けました。

その中で金屋町公民館は、中央ブロックを代表して優良公民館表彰を受けました。昨年の金屋町開町400年の際に、記念誌を公民館運営委員会のスタッフが中心になって編纂し発刊したことが、特に評価されたものと思われま

## 高岡鋳物資料整備調査委員会

### が発足しました

高岡市文化財課は主題の委員会を設置し、1月25日に第1回会合を開催しました。昨年1月に「高岡鋳物の製作用具および製品」1,561点が国の有形民族文化財になりましたが、その後追加して寄贈を受けた故金森映井智さんの用具類約200点や、富田家にあった鯉釜など

24点なども含めて、まだまだ調査不足で解明されていない部分が多々あるとの認識から、更に深く再調査しようというものです。調査を通じて、鋳物製作技術等の解明につなげると共に、文化財としての価値を更に高め、重要文化財への格上げも目指そうという狙いがあります。

委員長は富山大学芸術文化学部准教授の清水克朗さん、事務局は文化財課、委員として金屋町関



委員長の清水克朗  
准教授：昨年のふ  
いご祭りでは御神  
鏡のデザインを担  
当した

連で次の方々が委嘱を受けています。神初宗一郎、立川善治、般若邦太郎、般若慎一郎、般若陽子、堀峯一。調査の期間は平成25年度までを見込んでいます。

## ペーパークラフト の世界展を見てきました

魚津市新川文化ホールへ、主題の展示会を見に行ってきました。会場へ入るなり「あっ！すごい」と思ったのが、率直な感想です。

動物、建物、車など乗り物、アニメキャラなどなど、4人の作家による数百点のリアルな作品が所狭しと並べられた様は圧巻でした。



大きな作品は、TVチャンピオンでダンボールアート王選手権を3連覇した篠崎均さんの原寸大レーシングカーです。

4人の作家の中には高岡市出身の坂啓典さんもあります。紙でここまでよくも作ったものだと、感心させられました。

この展示会を通じて、インターネットでペーパークラフト展開図の無料ダウンロードサービスを行っている企業がいくつもあることを知り、早速アクセスしてみました。中でもキャノンとキリンビバレッジが質量とも充実しており、私のお勧めです。企業名とペーパークラフトという言葉を並べてキーワード検索すると、ヒットします。キリンビバレッジには三段飾りのお雛様もあります、時節柄作ってみてはいかがでしょうか。